

据付工事をされる方へ

●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

安全上のご注意 (RW-143P 形を据え付ける場合)

- 据え付け前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく据付工事を行ってください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

⊘ ……「禁止」を表わします。

❗ ……「必ず守っていただく行為」を表わします。

⚡ ……「アース設置」を表わします。

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

■据え付け上の注意事項

⚠ 警告 (誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)

❗ 据え付け及び移設は、お買上げの販売店または、専門業者に依頼してください。ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。

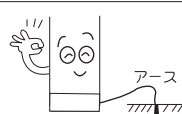
❗ 床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。



⊘ 水のかかる場所や湿気が多い場所には据え付けしないでください。漏電により、感電や火災の原因になります。



⚡ アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。
アース設置 電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



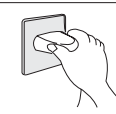
❗ 定格15Aのコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



⊘ 定格電圧 (単相100V) 以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。



❗ 電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。異常発熱や火災の原因になることがあります。

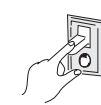


⊘ 電源プラグをウォータークーラーの背面で押し付けしないでください。電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。



⚠ 注意 (誤った取り扱いをした時に、状況によっては) 重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)

❗ 専用の漏電しゃ断器を設置してください。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



⊘ 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を乗せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



❗ 給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。雑菌により健康を害するおそれがあります。



据付工事をされる前に

- 給水源には必ず水質基準（厚生省令第69号）に適合した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内でお使いください。
- 水入口バルブは必ず逆流防止のものをお使いください。
- 据付工事が完了したら、お客様に取扱説明書の内容をよくご説明ください。

■据付場所について

取扱説明書据え付けについての項に従いお客様の同意を得てから据え付けてください。

■配管類の洗浄

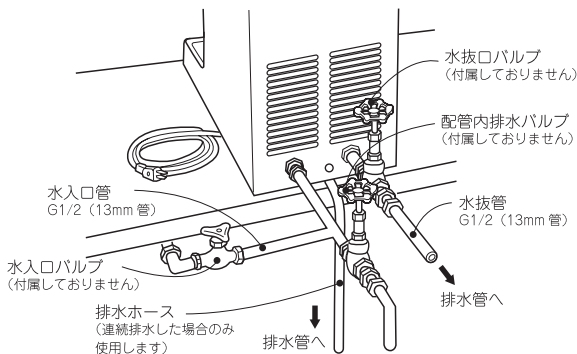
配管類は接続する前に充分洗浄してください。配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これが混入すると、ストレーナーが詰まったり、異臭を放つ水が出るおそれがあります。

このウォータークーラーは元止め式です。

ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンクき裂・水漏れのおそれがありますので、改造してご使用にならないでください。

据付工事をされる場合

- 水入口配管は、地域の水道局認可のフレキシブル管、硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管等をお使いください。水抜口は接続金具付ビニルホースの使用が便利です。

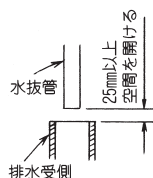


※図は配管の一例です。

- (1)水抜口バルブ、水抜管は冷却タンクの洗浄に必要ですので必ず配管してください。

- 水抜口バルブは冷却タンクの洗浄、水抜き時以外は必ず閉じてください。

- (2)水抜管と排水受側の間には必ず25mm以上の空間を開けて、逆流を防止してください。



■配管を接続するときのご注意

シーリング剤は、配管が詰ったり、水ににおいがつくようなものは使用しないでください。

■冷却タンク内および配管内の洗浄

据え付け当初は、水に配管などのにおいが移ることがあります。においが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- (1)水抜口バルブを開けます。
- (2)水入口バルブを開けます。
- (3)給水弁レバーを押します。水抜口から排水されます。

■冷却タンクへの水の入れ方

冷却タンクなどの洗浄が終了したら、水抜口バルブを閉めて給水弁レバーを押してください。冷却タンク内に水が入ると同時にノズルからタンク内の空気が水と混って、噴出されます。

正常な噴水になるまで、給水弁レバーを2～3分押しつづけてください。

■ノズルから出る水の量の調節

ノズルから出る水の量の調節は、水入口バルブの開閉で調節します。

■流量調整用オリフィス、ストレーナーが詰った場合

給水圧が変化しても自動的にほぼ一定の水量に調整するオリフィスと、ストレーナーが水入口部に組み込まれています。ストレーナーやオリフィスにごみなどが詰りますと、水の出が悪くなります。ごみなどが詰った場合はピンセットで取り除いてください。

- オリフィス、ストレーナーは図の向きで挿入し、トメワは内側の溝に確実にに入れてください。
- 給水圧が低く、水の出が悪い場合はオリフィスを取り外してご使用ください。

